

特色

耳鼻咽喉科頭頸部外科の診療範囲は他科と比較してもかなり広いものですが、その全領域を取り扱うことができることを当科の目標としています。また、癌や悪性リンパ腫の早期確定診断のため、即日あるいは数日以内の生検や画像検査を実施しております。加えて、平成26年度からは、嚥下障害診療の実質上のレベルアップを図りました。すなわち、当科を含めた各科医師、言

語聴覚士・管理栄養士・理学作業療法士や摂食嚥下看護認定看護師を中心とした病棟スタッフなどからなる嚥下チームが、運用実績を積みつつあります。当院は急性期病院の中でも、多岐にわたる発症機序、発症超早期の嚥下障害例が多く、内視鏡下嚥下機能検査や摂食嚥下訓練を駆使した診療に、やりがいを感じております。

対象疾患

即日緊急入院例が多い疾患: 突発性難聴、メニエール病等のめまい疾患、重症顔面神経麻痺、急性副鼻腔炎、扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎(ステロイド投与を要する疾患が多くなっています。糖尿病や高血圧合併例が高率にあり、内分泌代謝内科などの支援を、入院初日から得ております。)

入院診療例が多い疾患: 左記疾患群や下記手術例に加えて、頭頸部癌の放射線化学療法症例(多くの症例で、初診から2週以内に放射線照射を開始できています。)

当院他科入院中で当科に紹介が多い疾患: めまい120例程度、嚥下障害300例程度。

診療実績

H30年 手術室で行った手術件数

合計 365、その内訳は、

中耳真珠腫症、慢性中耳炎、滲出性中耳炎耳瘻孔等に対する耳科手術: 24

好酸球性副鼻腔炎、上顎骨折等に対する鼻副鼻腔手術: 78

慢性扁桃炎、扁桃病巣感染症、気道狭窄症状、口腔疾患等に対する口腔咽頭領域手術: 154

ポリープ様声帯、喉頭蓋嚢胞等に対する喉頭微細手術: 49

気管切開、嚥下関連手術、音声改善手術など頸部手術: 19

唾液腺、甲状腺手術: 13

頸のう胞摘出術やリンパ節生検: 23

頭頸部要性腫瘍摘出術や頸部郭清術: 5

地域の先生方へ

当科は入院診療に特化し、外来診療はできるだけ入院施設を持たない医療機関にお願いするという方針を続けております。予約外の外来患者さんの受付は、火曜、水曜、木曜の午前限定させていただいておりますが、紹介状持参の方は、月曜から金曜日まで、週日の午前はすべて受け付けておりますので、よろしくお願いたします。

また、当院の地域医療室を通じて、診療の日時まで

予約されることをお勧めいたします。なお、緊急入院が必要な可能性のある症例は、日時を問わず受け入れておりますので、お電話等でご連絡いただければと存じます。スタッフ全員が手術中等の理由で実際の診療までに数時間程度お待たせすることになる場合、病院内に空きベッドが皆無の場合はご容赦ください。このようなことが、年間に数件あるのが実情です。